

令和4年度復職支援研修
講義・演習コース実施報告

講義・演習コース2：令和4年9月8日（木）～9月9日（金）

1. 目的

就業を希望する者に対し、最近における看護知識・技術を修得させ、未就業看護職に再就職を促すとともに就業の継続支援を目的とする。

また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新たな看護業務の発生や看護職員の休業等で緊急の要請があった場合、協力可能な看護職が不安なく業務に従事できるようにする。

2. 開催日

講義・演習コース1：令和4年9月8日（木）～9月9日（金）

3. 開催場所

宮崎県看護等研修センター

4. プログラム

（講師敬称略）

回数	午前	午後
1日目	開講式 9:20 看護の動向 (9:30～10:30) 看護に関係する社会環境の変化や最近の看護に関する動き等を学ぶ 宮崎県ナースセンター長 小城一代 復職支援講座 (10:40～11:20) ・職場の選び方・履歴書の書き方・職務経歴書の書き方・面接の受け方 キャリアコンサルタント 荒川貴代美 自己紹介・意見交換 (11:20～12:00) 受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める。	感染管理 (13:00～15:30) 感染の知識を深め、正しい感染予防の実際を学ぶ。感染予防の基本的技術を習得する。個人防護具の着脱の演習。新型コロナウイルス感染症対応を理解する。 講師：平和台病院 感染管理認定看護師 柳原由美子 ナースセンター登録の支援（希望者のみ）
2日目	フィジカルアセスメント (9:30～12:00) 患者の状態から緊急性の有無を明確に判断・把握し、必要とされる看護ケアへつなげることー看護観察から判断まで（講義・演習） 講師：宮崎大学医学部附属病院 小児救急看護認定看護師 野崎久美	医療安全研修 (13:00～15:30) 身近に起こりうる医療事故について知り、予防策について学ぶ。新型コロナウイルス感染症対応を理解する。 講師：川崎伸子 (元宮崎江南病院 副看護部長・医療安全管理者) 研修の振り返り (15:30～16:00) ラインチャートを使って

5. 受講者の状況

① 受講者：7名（未就業者 7名）

② 取得看護免許

保健師・助産師 1名 看護師 5名 准看護師 1名

③ 年齢：23～47歳（平均 37歳）

年代	受講生数	構成比
～29歳	1	14%
30～39歳	4	57%
40～49歳	2	29%
50～59歳	0	0%
60歳以上	0	0%

④ 看護職経験年数：0.2年～14.5年（平均5.4年）

経験年数	受講生数	構成比
1年未満	1	14%
1～5年未満	2	29%
5～10年未満	3	43%
10～20年未満	1	14%
20年以上	0	0%

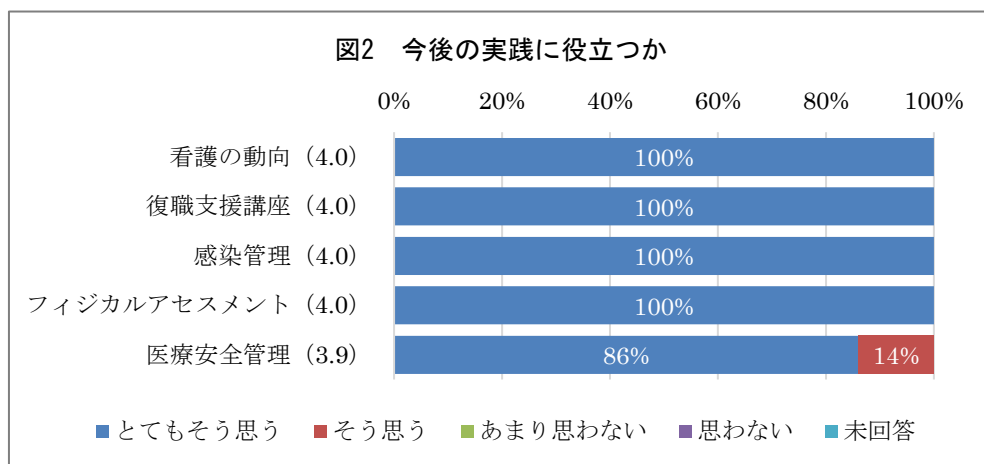
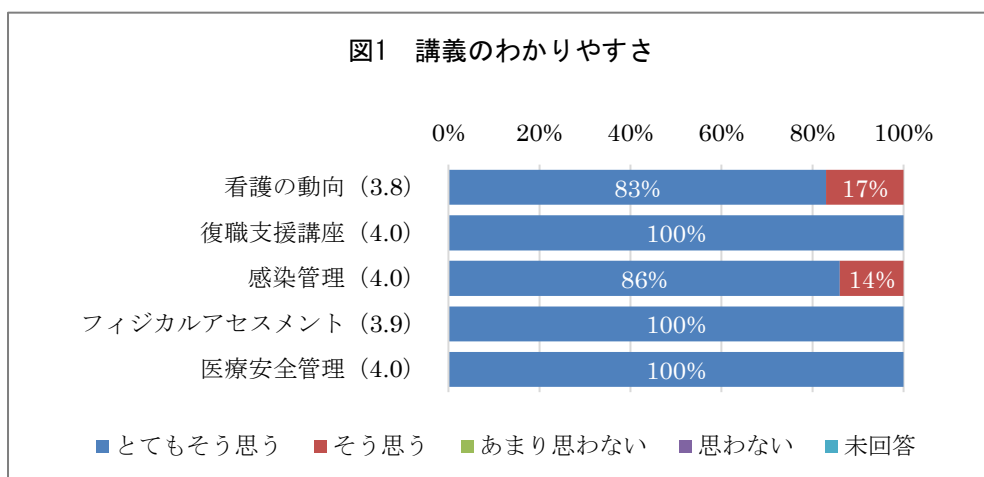
⑤ 未就業者7名の最終離職(または免許取得)から受講までの期間(ブランク期間)
0.2年～10年（平均5.6年）

ブランク期間	受講生数	構成比
1年未満	1	14%
1～5年未満	2	29%
5～10年未満	3	43%
10～20年未満	1	14%
20年以上	0	0%

6. 結果

各講義について、＜理解度（わかりやすさ）＞＜今後の実践に役立つか＞について4段階評価尺度と自由記述方式によるアンケート結果で示した。

1) 各講義のアンケート結果



2) 自己紹介・意見交換

(1) 内容

① 目標

受講生間の交流を深め、再就業への意欲をさらに高める

② 内容

- ・ キャリアの棚卸を活用し過去の振り返りと今後について考える
- ・ アイスブレイクと受講生自己紹介
- ・ 意見交換

3) 受講しての感想

- ・ 共感できる話を多く聞けて心が少し軽くなった。モヤモヤはまだあるが少しずつ情報を集め、研修に参加して具体的に進めたい。
- ・ 応募書類の書き方・自己理解について特に理解が深まった。やってみます。
- ・ 新型コロナウイルスへの対応がわかった。自分自身と患者を守るすべを動画や園主を通じて学ぶことができた。貴重な学びを得ることができ一つずつやってみます。
- ・ 感染管理認定看護師の話はよく理解できた。
- ・ 復職についても「自分がどうしたいか」色々考えてみようと思う。
- ・ 同じようにブランクのある方たちがいることがわかって、今後の復職の励みになる。
- ・ 内容の濃い、実践につながる講義を受けさせていただいた。「患者さんをみること」、基本なのでしょうがそれができず、わからず、不安だったのだと思いました。正確な観察習慣を身に着けたいし、やってみたいと思った。
- ・ 患者の安全を守る責務を再確認した。それでも繰り返されてしまう不安とプレッシャーを思い出したが自分と患者を守ることが仕事であると思い出しました。でも、もっと安全に仕事ができる仕組みが欲しい。
- ・ 復職に対して、様々な不安がありました。今回のこのような研修を受講させていただき不安な点も明確になりました。何を学習すればいいのかもわかった。多くの学びを得ることができた。
- ・ 看護師として現場で働いていた時の感じや感覚を思い出すことができた。でもまだまだ覚えることがたくさんあるとも思った。
- ・ 振り返りの時間で他の受講者の話を聞き、自分と同じ思いをしていることがわかり心強く感じた。
- ・ 働きだすと気に何が不安か、たくさんある中でベッドサイドでのフィジカルアセスメントを学びなおすことでそれが少し軽くなったような感じがする。
- ・ いろんな方が参加されていて自分も頑張ろうと思った。はじめは緊張しましたがグループワークやアイスブレイクタイムもあって緊張がほぐれた。
- ・ 忘れていた知識を思い出すことができた。学習の継続が必要と実感した。
- ・ 講義はわかりやすかった。今後について看護師をするのかよく考えたいと思った。

4) 取り入れてほしい講義

- ・ 心電図
- ・ 薬剤について

7. まとめ

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応についても研修プログラムに追加した。実技や演習も感染対策を行いながら実施した。

広報は、情報誌、新聞、市町村広報誌、ハローワーク等で行い、研修の申込は8名であったが体

調不良等に伴い7名の参加となった。

研修内容については、アンケートの結果のとおり満足度の高いものとなった。演習をすることで感染管理や个人防护具の着脱についても理解が深まっていた。受講者間のつながりや自分だけではないという気持ちになり励まされたという感想もあった。

受講者は参加することを決心し研修に申し込み、会場に足を運ぶこと自体にも不安を感じている。その不安な気持ちに寄り添いながら受講者の状況に合わせ就業を支援していきたい。